



「道の駅なみえ」～見どころ紹介～

無印良品 道の駅なみえ

営業時間：10時～18時（定休日：毎月最終水曜日）

「ムダなく、使いやすく、暮らしやすく。」をモットーに、食品や日用品、衣料品まで、生活の基本となる商品を幅広く販売する「無印良品」が、道の駅としては全国で初めて、「道の駅なみえ」にオープンしました。

国内外で絶大な人気を誇る数々のオリジナル商品はもちろん、日々の暮らしに役立つ多種多様な日用品も取りそろえるなど、町民の皆さんをはじめ、地域住民の暮らしに寄り添う店づくりを心掛けており、店舗に商品の在庫が無くても、約7,000品目の豊富なラインアップの中から取り寄せることができます。



素材を生かしたカレー バターチキン

3種のトマトの風味に、ほのかなスパイスが香る人気のレトルトカレー



不揃い バナナバウム

見た目は不揃いでも、おいしさは「粒揃い」



ウレタンフォーム 三層スポンジ

役割の違う3つの層で、清潔さと洗いやすさを両立



シリコン 調理スプーン

耐熱性と弾力性に優れ、調理のあらゆる場面で活躍



スキンケア用品

様々な肌のタイプや、悩みに対応する、豊富なバリエーション



「おすすめ」を
教えてください



スタッフさんに聞きました
佐々木 陽子 さん

「オーガニックコットン（3年以上、無農薬の土地で作られた綿）」を使用した衣料品は、「無印良品」の代名詞の一つですが、中でもTシャツとジーンズがおすすめです。ボーダー柄のデザインが人気のTシャツは、生地目を詰めて編み立てていて、着るに連れて体になじんでいきます。ジーンズは伸縮が自在で「締め付け感」が軽減され、程よく体に「フィット」するのが特長です。

開店に先立ち、町民の皆さんから話を聞いたところ、衣料品の販売を希望する声が多く上がっていたので、これらの商品をはじめ、より一層の品ぞろえの充実を図り、地域の皆さんの生活に、少しでも彩りを添えられればと思います。



無印良品 道の駅なみえ ～開店への思い～（佐々木 陽子 さん）

道の駅は、各地から、観光客など様々な人が訪れる場所であると同時に、地元の皆さんが買物をしたり、交流をしたりと、日常生活の中で気軽に立ち寄り場所でもあると感じています。

「無印良品」は、「地域のために役に立つ店、であることを常に目指している」ので、今回、浪江町の「復興のシンボル」「道の駅なみえ」に開店することができ、とてもうれしいです。

道の駅への出店は、全国で初めてのチャレンジで、今後のモデルケースになるのでプレッシャーもありますが、やりがいを強く感じています。

「浪江町に無印良品が来てくれて良かった」と思ってもらえるよう、町民の皆さんの意見を積極的に取り入れながら、地元ならではの新商品の開発、また将来的には、人や地域の成長につながるワークショップの開催などを通じて、町に貢献していきたいと思っています。

問 産業振興課商工労働係 TEL 0240(34)0247

「なみえスマートモビリティチャレンジ」 内堀福島県知事が体験

2月18日、内堀福島県知事が浪江町を訪問し、電気自動車や自動運転技術を活用した実証実験「なみえスマートモビリティチャレンジ」（詳しくは「広報なみえ3月号」10・11ページ）を視察しました。

内堀知事は、「道の駅なみえ」において、乗車予約の際に必要な「デジタル停留所」の操作方法の説明を受けた後、早速、自動運転技術を搭載した電気自動車に試乗。JR浪江駅など、「道の駅なみえ」周辺の約3キロメートルを巡回しました。

内堀知事は試乗後、「道の駅なみえ」を中心とした一定のエリアに人が集積し、にぎわいと笑顔を取り戻すことができる。復興の一つのシンボルになる」と話し、大きな期待を寄せていました。



自動運転技術を搭載した電気自動車に試乗する
内堀知事（右）と町長（中央）



「視覚的に分かりやすい」と内堀知事（右から2人目）



「道の駅なみえ」から町内巡回へ出発



「スムーズな乗り心地と高い安全性に衝撃を受けた」と
興奮気味に話す内堀知事



皆さんの身の回りにある楽しい話題
などの情報を募集しています。

問 企画財政課情報統計係
TEL 0240(34)0241

こども園でひな祭り会

3月3日、浪江にじいろこども園において、ひな祭り会が行われました。

園児たちは、先生が話すひな祭りの由来に興味津々。その後、それぞれ作ったひな人形を披露したり、みんなでひなあられを食べたり、楽しい時間を過ごしました。



「みんな、分かった?」「はい」

オリジナルの歌とダンスを披露

浪江町に人が戻り元気に暮らしている姿を、全国の皆さんに伝えるために、有志が力を合わせて作ったオリジナルソング「いくどはあ★なみい」。

歌詞には浪江町の地名や魅力を盛り込み、ダンスは「子供からお年寄りまで一緒に踊れるように」と、簡単で楽しい振り付けに。

3月7日、浪江町地域スポーツセンターにおいて完成発表会が行われ、浪江町出身の2人のボーカルによる歌に合わせ、なみえ創成小学校・中学校の児童・生徒が、元気いっぱいダンスを披露しました。



ステージは「輝く笑顔、でいっばいに



完成発表会の模様はこちら



2月22日は一足早く、町長に報告

光のモニュメント

2月23日、東日本大震災による犠牲者への慰霊や、地域再生への願いを込めた「光のモニュメント」が行われ、会場の浪江小学校から夜空に向けて、3本の青い光の柱がのびました。



月との「競演」も



なみえ創成小学校・中学校の今を伝える

なみえ創成通信

学校の基本理念 子どもたちの生きる力と夢を育み、地域の未来を切り拓く学校

なわとび記録会

小学校 2月4日

「なわとび記録会」では、たくさんの保護者が見守る中、自己記録の更新を目指して児童たちが頑張りました。また、長縄跳びでは、声をそろえて数えながら、タイミングよく跳び越していました。児童からは「本番では緊張したけれどたくさん跳べた」「昨年跳べなかった新しい技が跳べるようになったからうれしかった」との声が聞かれました。「冬のスポーツ」を通して体力の向上につながりました。



マイ弁当の日

2月12日

食に関する関心を高め、食べ物や食に関わる人への感謝の気持ちを育てるため、年2回、自分でメニューを考え、朝、弁当を作る「マイ弁当の日」を実施しています。

自分で作った弁当の味は格別のように、昼食の時間は互いに感想を言い合いながら、楽しい時間を過ごしました。



栄養と見た目のバランスを考えたおもしろい「マイ弁当」ですね。来年もまた、楽しくチャレンジしてください。保護者の皆さん、ご協力ありがとうございました。

全校道徳

中学校 2月26日

「全校道徳」では、保護者が参観する中、「私と浪江(郷土愛)」について授業を行いました。自分や周りの人が浪江町のことを考え、これからどのように生きていくかを確かめることで、町内に住み、通学したこの1年の経験を、4月からの生活に生かしていこうとする姿勢を育むことを狙い、「哲学対話形式」で議論を行いました。生徒たちは「正解のない問い」に対して活発に意見を出し合い、浪江について深い「学び合い」をしました。



なみえ創成小学校・中学校ブログ

なみえ創成

検索

問 なみえ創成小学校 TEL 0240(23)5335 問 なみえ創成中学校 TEL 0240(23)5336